

「物事なるようにしかならない」ということは、当にわかっていることだが
まだみぬ未来を勝手に想像し不安がる。

と、思いながらも、なるようにしかならんも、どうもおかしな感じがする。
結局のところ、なるようにしかならんのだが
なるようになるよう、何かをしなければならぬとも思う。

で、終わりのない禅問答が、ぼくの思考の中で悶々と続く。
要はハッキリとした答え、というよりも正解？というよりも正しさ？
そんなものが欲しいのか？

が、というよりも、揺るぎない覚悟が欲しいだけなのだろう。
馬鹿は死ななきゃ治らないとはよく言ったが
この性分、一旦どこかでリセットしなければ治らんのは
当の本人が一番よく解っている。

これもまた諦めるしかないのか。
しかし、この性分が幾多の困難をくぐり抜けてきたのも事実である。

諦めると言うよりかは、そのことが解っただけでも、この人生での収穫としよう。
そう考えると、残り少なくなって来た人生だが、少し控えめに生きた方が
ちょうどいいのかもしれない。

感謝

アウル 宮崎 直人



宮崎先生が感銘を受けた本
「満月の夜、母を施設に置いて」
藤川 幸之助 著 中央法規

私がここにいることを
何もしなくても良い
何もしないことに
罪を感じることはない
何もせずただ側で見つめることにも
何かをしてあげると同じくらい
価値があるときもあるかもしれないのだ
母はきっと
私を分かっている
私の気配を感じている
私がここにいることに
「コウちゃんいつもありがとうがどうね」
と心でつぶやいている
慰めるように
折るように
独り言を言う

〈今月の出来事〉

〈実習生〉

今月、実習生はおりません。

○誕生会

○七夕

○野菜収穫 (in スタッフ宅)

〈編集後記〉

今月の題字は、廣瀬 洲子様
に書いて頂きます。
コロナ禍の中、予約制でありますが、
面会が出来るようになりました。
皆様も体調切充分注意して、
生活してください。



Happy

birthday

野菜を収穫



in スタッフ宅

二又 恵子様

8月3日

87 歳



七夕(8月7日)



願い事ねの
長生きかなの



健康で
過ごせますように



いい天気だ
あつね



あら。
いっほい
とつね。
おしやう。

